

令和4年度(2022年度)

自：令和4年4月 1日

至：令和5年3月31日

決算報告書



AKIOTAKARA

あきおおたから

ふれて、心に残るもの

一般社団法人 地域商社 あきおおた

はじめに

一般社団法人として、財政の透明性を高め、地域住民への説明責任を果たすとともに、財政の効率化、適正化を図るために、財政諸表を作成、分析をしています。ここにその概要を報告します。

主な会計基準と財政諸表

会計部門として、公益目的事業会計と収益事業会計に大別します。

公益目的事業	田舎体験推進協議会 ヘルスツーリズム推進協議会 地域プロモーション事業 事業支援プラットフォーム事業 特産品開発事業 地域DMO（観光振興）事業 CRM構築事業 看板商品事業
収益事業	道の駅指定管理事業 地域DMC（外部販売）事業 はじまりの家（空き家対策）事業

※観光事業補助には、旅行サービス手配業、イベント物販販売、他自主収益事業を含む。

- 財務諸表作成は複式簿記・発生主義会計に基づきます。
- 財務諸表は、貸借対照表、正味財産増減計算書になります。正味財産増減計算書について、決算においては、事業部門別内訳及び非収益・収益別内訳を作成しています。

決算の総括

- 正味財産増減計算書のとおり、当年度の経常収益は、182,821,682円、経常費用は168,699,936円となっております。正味財産期末残高は55,661,073円となりました。
- 事業収益が昨年度より20,040,545円増額となったことにより、消費税納税額は、昨年度より654,500円増となり2,631,700円となりました。

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	73,348,692	53,308,147	20,040,545
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	98,303,393	108,115,773	△9,812,380
受取委託料・支援金	369,500	0	369,500
受取補助金等計	98,672,893	108,115,773	△9,442,880
受取負担金			
受取負担金	1,400,000	0	1,400,000
受取寄付金			
受取寄付金	29,533	0	29,533
雑収益			
受取利息	731	406	325
雑収益	9,369,833	5,857,136	3,512,697
雑収益計	9,370,564	5,857,542	3,513,022
経常収益計	182,821,682	167,281,462	15,540,220
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	3,298,238	2,783,244	514,994
仕入高	47,936,543	36,349,104	11,587,439
期末たな卸高	△4,105,127	△3,298,238	△806,889
給料手当	27,364,439	20,179,740	7,184,699
賞与	3,557,265	2,594,063	963,202
福利厚生費	4,341,383	3,622,753	718,630
旅費交通費	745,202	434,646	310,556
通信運搬費	1,072,359	1,070,973	1,386
減価償却費	36,852	36,852	0
消耗品費	3,599,203	3,970,377	△371,174
修繕費	1,128,050	222,200	905,850
印刷製本費	2,240,910	1,005,400	1,235,510
燃料費	0	3,175	△3,175
光熱水料費	4,840,209	3,930,796	909,413
賃借料	2,134,653	1,499,540	635,113
保険料	496,352	418,723	77,629
諸謝金	4,297,680	1,757,839	2,539,841
租税公課	27,000	43,617	△16,617
体験費	1,305,942	892,582	413,360
支払助成金	2,701,000	5,477,440	△2,776,440
委託費	19,681,611	34,840,469	△15,158,858
広告宣伝費	3,862,928	2,640,380	1,222,548
弁当・食事費	629,642	634,836	△5,194
雑損失	815	10,569	△9,754
雑費	10,290,053	3,933,041	6,357,012
事業費計	141,483,202	125,054,121	16,429,081
管理費			
役員報酬	6,380,250	5,780,760	599,490
給料手当	3,205,480	8,513,312	△5,307,832
賞与	1,069,004	2,421,892	△1,352,888
福利厚生費	2,579,759	3,436,034	△856,275
会議費	0	5,410	△5,410

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費交通費	197,880	163,920	33,960
通信運搬費	193,605	169,781	23,824
減価償却費	413,814	390,970	22,844
消耗品費	982,871	1,268,406	△285,535
修繕費	328,892	122,755	206,137
印刷製本費	386,355	303,731	82,624
燃料費	434,188	428,224	5,964
光熱水料費	796,418	639,896	156,522
賃借料	593,720	41,213	552,507
保険料	337,790	487,073	△149,283
諸謝金	10,000	74,000	△64,000
租税公課	2,757,342	2,141,240	616,102
支払負担金	349,000	1,143,000	△794,000
リース料	262,680	293,040	△30,360
弁当・食事費	67,348	0	67,348
雑費	5,870,338	4,098,604	1,771,734
管理費計	27,216,734	31,923,261	△4,706,527
経常費用計	168,699,936	156,977,382	11,722,554
評価損益等調整前当期経常増減額	14,121,746	10,304,080	3,817,666
当期経常増減額	14,121,746	10,304,080	3,817,666
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	14,121,746	10,304,080	3,817,666
当期一般正味財産増減額	14,121,746	10,304,080	3,817,666
一般正味財産期首残高	41,539,327	31,235,247	10,304,080
一般正味財産期末残高	55,661,073	41,539,327	14,121,746
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	55,661,073	41,539,327	14,121,746

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,504,343	36,382,902	14,121,441
未収金	4,950,783	3,865,578	1,085,205
商品	4,105,127	3,298,238	806,889
前払費用	21,370	21,370	0
立替金	398,825	166,900	231,925
仮払金	128,420	128,420	0
流動資産合計	60,108,868	43,863,408	16,245,460
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
建物	553,659	590,511	△36,852
車両運搬具	95,403	486,373	△390,970
什器備品	868,621	0	868,621
土地	500,000	500,000	0
出資金	11,000	1,000	10,000
ソフトウェア	210,672	210,672	0
その他固定資産合計	2,239,355	1,788,556	450,799
固定資産合計	2,239,355	1,788,556	450,799
資産合計	62,348,223	45,651,964	16,696,259
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,741,226	2,633,045	2,108,181
未払消費税等	1,643,300	1,017,600	625,700
預り金	302,624	461,992	△159,368
流動負債合計	6,687,150	4,112,637	2,574,513
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	6,687,150	4,112,637	2,574,513
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	55,661,073	41,539,327	14,121,746
正味財産合計	55,661,073	41,539,327	14,121,746
負債及び正味財産合計	62,348,223	45,651,964	16,696,259

令和4年度地域商社あきおおた事業報告

令和3年11月に観光庁「地域DMO」として本登録され、観光による地域づくりをけん引する組織としての役割をふまえ、令和4年度は、これまでの主要事業は継続しつつ、中期計画書でも必要とされる令和8年度に向けての基盤整備事業と新型コロナウイルス感染症で停滞した町内経済を活性化するための事業に取り組んだ。

具体的には、林野庁「森林サービス産業」や観光庁「看板商品事業」の2つの受託事業を関係する町内事業者と連携し、複数の町内観光コンテンツを組み合わせたパッケージ型商品の造成等を行い、次年度に向けた新たな魅力づくりの観光資源創出につながった。

また、課題であった推進協議会の発足を令和4年秋に13部会で行い、全体での説明を終え、令和5年度以降の関係事業者との連携を一層図り、地域への貢献と地域活力の好循環を進めるための準備が整った。

1. 地域DMO活動（新型コロナ活用交付金）

【事業費：23,164千円】

(1) 町内資源を活用したツアー企画

町内の自然や文化財等を活用した団体型観光旅行を町内在住の山岳ガイドと旅行会社と連携して、フットパスツアーを実施した。コロナ禍ということもあり、16ツアー中泊を伴うものはいずれも参加者がなく、日帰りツアーのみの実施となった。

【ツアー参加状況】

ツアー内容	開催回数	参加者数
日帰り 自然歩き学校	4回	63人
日帰り フットパスウォーキング	4回	91人

(2) 新規商品開発企画

県内外旅行者及びインバウンドに係る新規商品開発を企画する中で、安芸太田町への誘客を図るための営業活動、パンフレット設置を行った。また、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品」事業の採択により、森林セラピーをはじめ、神楽鑑賞、削り物体験、雪遊び体験といった町内の複数のコンテンツを組み合わせたモニターツアーを町内のバス会社、宿泊業、飲食業と連携し実施した。

(3) 観光パンフレット更新

現在の町観光パンフレット「安芸太田ナビ」は初版から5年以上経過しており、観光内容の一部修正と増刷を行った。その他観光情報発信に関するポスターなどの見直し、増刷等を行った。

(4) あきおおた ComeUp キャンペーン事業・あきおおたまるごと周遊スタンプラリー事業

昨年度に続き、コロナ禍による町内事業者の経済支援として、「安芸太田町」のPR

を地域商社のホームページや交通事業者等と連携したキャンペーンを実施し町内消費の増加を図る誘客事業を行った。

① ComeUp キャンペーン

実施期間 令和4年5月21日～令和5年2月28日

実施事業者数 9 宿泊事業者

助成費目	助成金額
宿泊補助額	2,701,000 円
クーポン券	1,561,500 円
利用延べ人数	936 人

② 周遊スタンプラリー

実施期間 令和4年5月21日～令和5年2月28日

実施事業者数 51 事業者

クーポン券換金数 8,710 枚 (他の誘客事業と同じクーポン券使用のため概数)

町内飲食消費額 43,550,000 円

※町内飲食消費額 クーポン券1枚当たりの飲食代5,000円相当で換算

(5) 観光庁：看板商品事業 【事業費 20,972 千円 うち補助額 12,090 千円】

コロナ禍からの地域経済回復に向け、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」の採択により、2つの事業を実施した。

① ふれて心に残るもの。五感で味わう「あきおおたから」体験ツアー（1泊2日）

神楽、戸河内割り物、角寿司（昼食）、森林セラピーなど、安芸太田町を代表する体験コンテンツを組み合わせたツアーを企画し、その担い手となる町内団体や事業者と連携し実施した。

催行期間 令和4年12月～令和5年1月 実施5回 計73名参加

② 冬の里山はじめての雪体験・伝統芸能にふれる2泊3日ツアー

積雪のない沖縄から一番近い雪国で地域に根差した伝統芸能「神楽」と雪体験を宿泊施設と連携して行った。

催行期間 令和4年12月～令和5年2月 実施2回 計40名参加

2. 教育旅行民泊運営（田舎体験推進協議会事務局） 【事業費：8,476 千円】

(1) 民泊受入

今年度、春からの再開を予定していたが、新型コロナの流行状況が一時的に落ち着きを見せた9月のみ、1校の受入を実施した。参加生徒及び受入家庭の安全・安心を確保するため、学校側には修学旅行出発時の抗原検査、更に、受入家庭、生徒ともに民泊前日にも抗原検査をしてもらったうえで、民泊受入を行った。生徒18名、受入家庭5家庭と少人数での受入ではあったが、2年半ぶりに迎えることができた生徒達との交流に、協力いただいた家庭からは受入に対して前向きな意見だった。また、受入家庭と過ごす生徒たちの生き生きとした様子に引率教諭からの評価も高く、次年度の

来町も決定している。

(2) 日帰り家業体験

受入家庭、生徒ともに2週間前からの健康チェック（体温など）の徹底など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ再開した。日帰り体験のリピーター1校及び民泊予約からの切替1校、計2校の受入を行った。

(3) 選択別体験

これまでと同様、体験受入事業者の生業の一部となっている体験プログラムに限り、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、受入を行った。令和4年度は、修学旅行を再開した学校も多く、自然体験の需要が大きかったこともあり、前年度と比較すると約1.5倍の受入となった。（計10校）

令和4年度

	小学校	中学校	高等学校	インバウンド	合計	前年比
学校団体数	1	8	3	1	13	186%
リピート校	1	1	0	1	3	100%
生徒数	96	749	279	18	1,142	176%
民泊数	0	0	1	0	1	
受入れ家庭数	0	0	5	0	5	

3. 体験型観光事業（ヘルスツーリズム推進協議会）

【事業費：9,887千円】

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響が減少傾向ではあったものの、団体旅行の受入れや、旅行会社からの依頼による受入れ件数は減少した。

一方で、当町受入2回目となる日本医師会認定産業医研修の共催や林野庁「森林サービス産業モデル地域事業」の実施など、ヘルスツーリズム推進協議会がこれまで積み上げてきた実績をより拡張できる取組みを行い、今後につながる活動ができた。これらの成果を活かして、企業・団体の受入件数を増やすための人材育成や営業活動、各種取組を令和5年度は進める。

(1) 実績

項目	目標	実績	対前年比
体験者数合計	1,320人	713人（昨年408人）	175%

内訳

内容	件数（件）	人数（人）
森林セラピー	12	103
SUP体験	58	219
企業連携	9	90
観光ガイド	6	70
学校連携	5	231
計	90	713

※共催事業による参加者は含まれていない。

(2) 取組内容

①林野庁：森林サービス産業

安芸太田の森林空間を利用し企業の健康経営に着目したモニター事業の実施やワークショップを開催し、健康経営に関心のある企業に対し提案を行った。

総事業費 2,615 千円 うち助成額 1,400 千円

②SUP体験

令和4年度は、219名の方が参加した。8月に降雨や増水が重なり、約80名が受入の中止となった。

③人材育成

ガイドを対象とした研修会の開催・冬ガイドの養成講座を実施した。

実施日	実施場所	実施内容
6/23	役場・三段峡	川の安全講習会（座学・実技）
8/28	深入山	ガイドスキルアップ研修会（企業受入対応）
10/17～19	温井ダム	事前講習会、JSPA カヤックベーシック検定会
10/1～2/15	いこいの村ひろしま、川・森・文化・交流センター	冬のインストラクター養成講座（観光庁 看板商品事業）

④町内教育機関との連携

令和4年度も継続して、町内中学1年生の合同合宿や県立加計高校の探求の時間を活用した体験活動のサポートを行った。

連携先	連携内容
加計高校	菊芋栽培・商品化 芸北分校との交流 横川商店街加計高マルシェ出店 井仁棚田：稲刈り体験 道の駅：釣りカフェ実施
安芸太田・加計中学校	1泊2日合同合宿（三段峡・深入山）

⑤その他

雪山誘客事業

【事業費：430 千円 うち補助額 400 千円】

ひろしま雪山誘客促進協議会の助成金を活用して、町への冬季誘客事業を行った。

- ・恐羅漢スノーパーク情報発信のためのポスター共同制作と掲示
- ・メディアを使った情報発信
- ・ツアーチラシ、新聞折込情報発信

4. 事業支援プラットフォーム事業・特産品開発事業

【事業費：3,456 千円 うち補助額 3,000 千円】

(1) 新規開発品の実績 売上高 1,785 千円 前年比 120%

	アイテム数	商品名	売上高	前年比
祇園坊柿商品	58 種類	干柿、あおし柿ワッフル、ようかん、ソース、ドレッシング等	11,588 千円	132%
(内新規商品)	8 種類	焼き肉のタレ、バターケーキ、スムージー、ジャム等	1,026 千円	69%
その他 新規開発商品	1 種類	太田かぶ菜漬ぎょうざ	759 千円	前年実績なし

(2) 一次加工品の品質向上

・真空包装機の導入

HACCP（ハサップ）義務化により一次加工品の納品時にある程度厳しい規格を求められる可能性が高くなるため、真空包装機を購入し、一次加工品の品質向上化を図った。

・賞味期限の設定

柿ピューレ（冷凍）の賞味期限を科学的根拠により適正に設定するために、保存試験を実施。令和5年度も引き続き行う。

(3) その他

- ・福屋×辻口シェフ 広島特産品オリジナルスイーツ共同開発
- ・女学院大学食育サークル祇園坊柿開発プロジェクト

5. 物販・道の駅

(1) 道の駅来夢とごうち（指定管理施設）

①実績

	四半期				年度計	前年比
	第1	第2	第3	第4		
レジ売上高(千円)	11,528	9,655	16,799	8,903	46,885	129%
入店客数(人)	18,326	15,924	19,729	9,940	63,919	107%
購入客数(人)	8,856	7,126	10,923	5,427	32,332	127%
客単価(円)	1,302	1,355	1,538	1,640	1,450	101%
EC、発送売上高(千円)	740	604	1,759	312	3,415	110%
ふるさと納税売上高(千円)	825	1,388	5,312	2,602	10,127	131%
その他売掛(卸売など)					1,966	2026%
売上高計(千円)	13,084	11,648	23,880	11,817	62,395	131%

②令和4年度新規出荷事業者

	出荷事業者数	売上高	売上高前年比
地域事業者	78	24,874 千円	123.7%
(内新規事業者)	12	1,124 千円	

(2) 道の駅魅力化対策

①道の駅前出店制度の活用

- ・GW、お盆、秋の行楽シーズン中心に地元事業者出店 5 事業者
- ・平日中心に町内住民向け町外事業者の出店 3 事業者

②あきおたからマルシェ開催（地元利用促進、広島市内誘客）

- ・マルシェ開催日（第四日曜日）売上高前年比 125% 客数前年比 112%
- ・テレビやラジオで宣伝 広島市内からの集客

出店事業者：8 事業者（鮮魚、干物、ワイン、こんにゃく等）

うち町内事業者 4 事業者（そば、農産物、から揚げ、アユ、ホンモロコ等）

③ふるさと納税

- ・ふるさと納税新規商品 6 種類取扱開始

昔ながらの梅干し、祇園坊柿ジェラート 6 個、戸河内ウイスキーリキュールセット、戸河内ウイスキー飲み比べセット、祇園坊柿ドレッシング、ソース、焼き肉のタレ 3 本セット、あきおたドレッシングセット

④太田川産直市支援業務

- ・売上高 40,490（千円）前年比 114.5%
- ・営業、仕入れ、発注、集荷、販促作成、価格設定サポート、清算、年間営業計画作成、SNS 投稿、各種帳票実績等の整理等を支援した。
- ・町内卸売業者へ仕入れシフトし連携を強化した。

⑤道の駅立寄り

旅行事業者等への営業活動や全国旅行支援割（やっば広島じゃ割）団体ツアー客の道の駅立寄り等により、今年度の道の駅の来店者数及び売上げが増加した。

121 ツアー バス台数 133 台 集客数 3,608 人

⑥その他誘客事業

- ・第 2 回道の駅周辺ロゲイニング大会実施（6 月 25 日）

明治安田生命保険会社が公募した健活事業へ申請を行い、「健康づくり・地域探訪」の要素を取り入れた道の駅周辺を中心に地域の史跡などを巡るロゲイニング大会を実施した。

3 時間コース 14 チーム 45 人

5 時間コース 2 チーム 9 人

- ・道の駅キッチンカーマルシェ開催（11 月 27 日）

道の駅駐車場で町内外の特産品・スイーツなどの販売と冬季の観光キャンペーンを開催し、地域内への誘客活動を行った。 来場者数 1,200 名

6. 情報発信の動向

WEBサイト 閲覧数 1,231,806PV (昨年比 170%)
ユーザー数 272,437 (昨年比 142%)

昨年度に比べ閲覧数及びユーザー数は増加している。年間を通じて閲覧数が多いのは、三段峡、ホテル、道の駅、筒賀の大銀杏のページ順という結果だった。

7. 地域DMC

(1) 販路開拓

①出店 売上高 1,849 千円 前年比 205%

- ・エディオンマルシェ WITH 安芸太田、三次ワイナリー、コンベックス岡山 無印良品、わが町魅力発信隊 (マツダスタジアム)

地元農産物、加工品、工芸品などを販売

安芸太田町公式LINE登録でオリジナルエコバックプレゼント実施

LINE公式ライン登録者約 140 人

②あきおおたから EC、手配りチラシでの商品発送キャンペーンの実施

- ・ECサイト売上高 1,772 千円 前年比 117%
- ・その他発送売上高 1,643 千円 前年比 105%
- ・企画商品、送料キャンペーン、父の日、母の日、お中元等企画実施

ECサイト特別企画商品	実績	前年実績	前年比
春の野菜セット	26 件	43 件	60%
とうもろこし	205 件	155 件	132%
祇園坊あおし柿贈答用	49 件	47 件	104%
祇園坊干し柿	101 件	79 件	128%
その他	143 件	405 件	35%
計	524 件	729 件	72%

昨年度に比べ件数は大きく減らしているが単価が大きく上昇し売上高は伸びている。リピーター率 48%、昨年 28%とリピート購入の率が大きく上がっている。

③地元農産物を町外製造者へ原料提供・販売

- ・売上高 924 千円 前年比 186%
- ・町内外製造会社への原材料販売 (祇園坊干し柿、ピューレ、ジャム、太田かぶ菜漬)

④地域産品販売営業

- ・広島県内飲食店へ農産物、加工品など地域産品取扱の営業
- ・サミットを契機とした広島県産農産物マッチング商談会参加 (2月末参加)

8. 定住対策事業

【事業費：516 千円 うち補助額 405 千円】

令和4年度の定住対策事業のはじまりの家は、町のお試し住宅利用促キャンペーン事業 (令和4年6月1日～令和5年3月21日) により、通常よりも低料金での利用が可能であったが、コロナ禍による影響もあり昨年度より利用件数は減少した。

①利用者状況

居住地別 合計 8 件 県内 4 件、県外 4 件（関東 4 件） ※令和 3 年度 15 件

利用期間 5 月～11 月 冬季の利用はなし